



聖心女子大学「聖心歳時記」  
@SeishinDiary



聖心女子大学「聖心歳時記」

作成者: goukaku@u-sacred-heart.ac.jp (?) · 8月26日 15:00 · 🌐 シリーズ学生記者が行く「広尾Walking 2018」  
「広尾商店街の歴史 ～東京オリンピックの思い出～」



皆さんは広尾商店街と聞くとどのような場所を想像しますか。流行りの飲食店や雑貨屋、大使館が多く並んでいてお洒落で国際的なイメージを持つ方が多いのではないのでしょうか。しかし、広尾はスタイリッシュな場所であると同時に、今でもなお、手焼きせんべいのお店や玩具店、銭湯などが並ぶ商店街があり、歴史深い場所でもあるのです。そこで今回、私たちの通学路でもある広尾商店街の振興組合や広尾広報部の方々に歴史ある商店街の魅力を取材してきました。



広尾商店街が「商店街」として活動を始めたのは、1948年5月からです。現在は「広尾散歩通り」として親しまれ、大マグロ祭りや広尾フェアなど沢山のイベントが開催されています。この商店街の「広尾散歩通り」という名称は、お客様がゆっくりお散歩をしながら、お買い物やお食事を楽しんで欲しいという想いを込めてつけられました。

その後、1964年に東京オリンピックが開催され、商店街に様々な面で影響を与えることになります。例えば、商店街に繋がる大きな通りである明治通りを聖火ランナーが走りました。広尾商店街振興組合の専務理事の秋山さんは「1964年に日比谷線の広尾駅が開通したこともあり、多くの方が広尾を訪れるようになり商店街も賑わい、経済発展のきっかけになりました。」とおっしゃっていました。

また、オリンピックの開催は人々の生活の活力にもなり、商店街の人々も仕事を終えると、夜はオリンピック観戦に釘付けになっていたそうです。今以上にオリンピックが注目されていた様子が窺えます。

広尾商店街は新しさも取り入れながら、いつの時代も変わらず魅力で溢れています。昔から愛され続けるこの場所に、是非足を運んでみてはいかがでしょうか。

Hiroo散歩ど〜りのHPはこちら <http://www.hiroo.info/>